

2020年度レベル別教育プログラム

対 象	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時
レベル 1	*新人看護職員対象：入職時研修 既卒新採用者も必須	*看護部の一員として自己の役割を果たすために必要な知識・技術を習得する	別紙 「研修内容」参照	4月2日(木)・3日(金)・6日(月)
	*感染予防対策 I	*当院の標準予防対策、経路別予防対策を理解する *標準予防対策を実施できる	感染管理認定看護師 井上師長	4月9日(木) 9:00~12:30
	*医療安全管理 I 「事故防止・事故発生時の対応」	*事故防止のための基準・手順・マニュアルを理解する *事故発生時に適切な行動ができるように院内規程を理解する *アレルギー対策について理解する NEW *事故防止～膀胱留置カテーテル・浣腸の事故防止対策を学ぶ NEW	医療安全管理者	4月10日(金) 9:00~11:00
	*安全確保の技術 転倒・転落予防	*転倒転落の発生機序と当院の予防対策を理解する *当院の転倒・転落のアクシデント事例と分析結果を知る	医療安全管理者	4月10日(金) 11:00~12:30
	*診療情報管理 I 「看護記録」	*看護記録関連の規程から看護記録とは何かを理解する *看護実践を証明するための記録をどう書くか理解する *法的根拠となる看護記録について理解する	教育委員長	4月10日(金) 13:30~15:00
	*災害時の対応 既卒新採用者も必須	*火災・地震・停電などの災害時にリーダーの指示を受けて行動できる *赤十字看護師として日常の備えができる NEW	基準委員長	4月10日(金) 15:00~16:00
	*注射の基本 (皮下・皮内・筋肉内注射・静脈血採血) *輸液の管理 *輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱いと管理 *検体の取り扱い	*安全に注射を行うための知識・技術を習得する *輸液ポンプ・シリンジポンプを正しく操作するための基本的知識、技術を習得する *輸液療法が正確に実施されるために必要な知識・技術を習得する *検体の正しい取り扱いについて学ぶ(血液・体液・培養・その他) ★学研「皮下注射・筋肉内注射・皮内注射/シリンジ採血・真空管採血/血液培養・咽頭培養・胃液培養/尿の採取/喀痰採取/動脈血採血の準備と検体の取扱い(新人看護職員技術チェックコース)」	学研講義活用 各部署教育担当者 検査部技師長	4月23日(木) 8:30~16:30 4月24日(金) 8:30~12:00
	*正しい薬品・血液製剤の取り扱い	*麻薬、危険薬、血液製剤を正しく取り扱うための知識を習得する *輸血実施時の観察について理解する	薬剤師 学研講義活用 輸血療法委員会	4月24日(金) 13:00~15:00
	*糖尿病の病態生理・治療・看護	*糖尿病の病態生理・治療・基本的看護を理解する *血糖補正の目的と方法について理解し安全に実施できる	糖尿病療養指導士 遠藤師長	4月24日(金) 15:00~16:30
	*フィジカルアセスメント I 「対象の身体を診る」	*対象の疾患の病態生理・主な治療法・看護などの知識を活用し、フィジカルアセスメントができる *病態生理と治療と看護についての学習方法を学ぶ ★各部署教育担当者が、自部署の新人看護師へ指導する	各部署教育担当者	4月17日(金) 9:00~12:30(多目的) 13:30~17:00(各部署)
	*電子カルテ操作訓練 NEW	*電子カルテの基本操作を学ぶ *看護実践に活かすための患者の情報収集について学ぶ ★フィジカルアセスメントの研修と一緒に、各部署で自部署の教育担当者より講義を受ける。(各部署にある電子カルテの「基本操作・操作のまとめ」の冊子活用)	各部署教育担当者	4月17日(金) 13:30~17:00(各部署)
	*赤十字と看護倫理 I 「基本原則の理解」 既卒新採用者も必須	*倫理的ジレンマに陥ったときに活用するために、看護者の倫理綱領と赤十字の基本原則について理解する *日本の歴史、宗教、政治、社会、言語、慣習、ジェンダーなどを知る NEW	新野看護副部長	4月9日(木) 13:30~14:50
		NEW *自施設に来院する外国の方などの特性と健康問題、その看護について知る *国内外の保健・医療・看護・福祉の動向について関心を持つ	佐藤師長	4月9日(木) 15:00~16:00
	*摂食・嚥下障害の看護	*患者が安全に食事摂取できるように、患者の食べる機能をアセスメントし、適切な食事援助方法を選択できる ★研修前に学研視聴「安全な食事介助のための準備(新人看護職員技術チェックコース)」	学研講義活用 4A教育担当者 スタッフ	5月14日(木) 9:00~12:00
*口腔ケア 「摂食・嚥下障害改善、合併症予防」	*口腔ケアの目的を理解する *最新の口腔ケアの技術を習得する *挿管中の患者の口腔ケアを学ぶ	RSTスタッフ 堀江係長 ICU 小山看護師	5月14日(木) 13:00~15:00	

<p>*気管内吸引 *導尿・膀胱留置カテーテル挿入と管理 *浣腸（グリセリン・高圧浣腸）</p>	<p>既卒新採用者も必須</p> <p>*根拠に基づいた安全な気管内吸引ができる ★研修前に学研視聴「口腔内・鼻腔内吸引/気管切開患者の開放式吸引/挿管患者の開放式吸引/挿管患者の閉鎖式吸引/体位ドレナージ（新人看護職員技術チェックコース）」 *根拠に基づいた安全な導尿・尿管留置ができる 解剖・生理学と禁忌の手技を理解したうえで、安全に実践できる ★研修前に学研視聴「導尿/膀胱留置カテーテルの挿入・管理・除去（新人看護職員技術チェックコース）」 *根拠に基づいた安全な浣腸ができる ★研修前に学研視聴「浣腸/摘便（新人看護職員技術チェックコース）」</p>	<p>学研講義活用 各部署教育担当者</p>	<p>5月8日（金） （昼休みを挟む） 9：00～17：00</p>
<p>*急変時の対応</p>	<p>*救急カート内に整備しておくべき備品が分かる *救急カート、除細動の日常の点検方法を学ぶ NEW *急変時の自分の役割が分かる *スタートコールやRRSについて学ぶ 備考）既卒新採用者は、本研修への参加は希望者のみとする。 ただしその場合はRRS研修を早期に受講する。</p>	<p>学研講義活用 救外・3HCU・ICU 教育担当者 救急看護認定看護師・急性重症患者看護専門看護師 小笠原看護師</p>	<p>5月15日（金） （昼休みを挟む） 9：00～16：00</p>
<p>*気管内挿管の準備と介助</p>	<p>*気管内挿管の準備と介助が出来るよう知識・技術を習得する</p>		
<p>*ローテーション研修 オリエンテーション</p>	<p>*ローテーション研修の内容を理解し、研修に必要な事前準備ができる</p>	<p>ICU・3HCU・7HCU/ 救外/手術室 教育担当者</p>	<p>5月15日（金） 16：00～17：00</p>
<p>*ローテーション研修</p>	<p>*手術室・救急外来・ICU・HCUで研修を行う 注）詳細は別紙参照</p>	<p>ICU・3HCU・7HCU/ 救外/手術室 教育担当者</p>	<p>別途案内あり</p>
<p>*リフレッシュ研修：PART I</p>	<p>*自分自身の思いに気づくことができる *他者の思いを知る *今後、自分がどのように行動したらよいか考えることができる</p>	<p>新人看護職員研修 運営委員師長 教育責任者</p>	<p>5月29日（金） （日程は別途配付）</p>
<p>*人工呼吸器の取扱い</p>	<p>*人工呼吸器を使用する患者の人工呼吸管理を安全に行うために 器械の特性と取り扱い上の留意点を理解する ★研修前に学研視聴「人工呼吸器の準備・管理1～4（新人看護職員技術チェックコース）」</p>	<p>学研講義活用 臨床工学技士</p>	<p>6月5日（金） 14：00～16：00</p>
<p>*スキンケア 最新の褥瘡ケア（皮膚・排泄ケア）</p>	<p>*最新の褥瘡ケアの知識・技術を習得する *適切なテープ、被覆材の選択とスキンケアの方法を理解する</p>	<p>学研講義活用 認定看護師：小松 係長/加賀谷係長</p>	<p>9月29日（火） 14：30～16：30</p>
<p>*静脈注射レベル1～3 注：レベル3は末梢静脈注射留置針挿入まで実施する</p>	<p>既卒新採用者も必須</p> <p>*静脈注射の実施基準を理解する *静脈注射の実施基準に沿って安全に実施できる *各レベルの実技試験に合格する 注意事項）本研修前に以下の学研のオンデマンド研修の全項目を受講し、テストで満点を取得しておく。 ① 基本習得コース：解剖生理学とエビデンスから採血を学ぶ ② 基本習得コース：末梢静脈カテーテルの留置と管理“超入門” ③ 学研ナーシングメソッド：与薬の技術 「輸血の準備」「輸血の実施」「輸血中と輸血後の観察」 「特別な注意を要する薬剤の管理」</p>	<p>学研講義活用 各部署教育担当者</p>	<p>7月28日（火） 9：00～16：00 （確認試験は 研修の最後で実施）</p>
<p>*必須 各部署で企画した部署別学習会に出席し 学習することがレベルIの認定条件</p>	<p>*部署における代表的な疾患の病態生理・治療・看護について理解し活用できる</p>	<p>（講師の条件）レベルII以上の認定者</p>	<p>各部署で7月までに実施すること</p>
<p>*必須 関連部署OJT伝達講習</p>	<p>*所属する部署の関連部署について理解する *昨年度受講者より伝達講習を受け、関連部署で行われる検査・治療・看護と自部署での看護継続性と関連性について学ぶ</p>	<p>（講師の条件）昨年度の関連部署OJT受講者</p>	<p>各部署で10月までに実施すること</p>
<p>*看取りのケア</p>	<p>*亡くなられた方の尊厳を守りながら死後のケアを学ぶ ：亡くなられた方の重要他者の気持ちに配慮したケアを学ぶ ★学研「死後のケア（新人看護職員技術チェックコース）」の全項目を視聴し、テストで満点を得たら受講とみなす。 ★実践については各部署部署別学習会で教育担当者が実施</p>	<p>学研講義活用</p>	<p>① 各自視聴 ② 学研のオンデマンドのテストで100点を取得する</p>
<p>*リフレッシュ研修：PART. II</p>	<p>*同期の仲間とゲーム等しながら語らいリフレッシュする *半年間の成長をお互いに認め合う</p>	<p>新人看護職員研修 運営委員師長 教育責任者</p>	<p>9月29日（火） 8：30～14：00</p>
<p>*多重課題シミュレーション PART. I 注：静脈注射確認試験を合格・修了していること</p>	<p>*夜勤業務自立向け、多重課題に取り組むことができる *多重課題を達成するための自己の課題を明らかにする 注）本研修前に静脈注射の確認試験を合格しておくこと。 *自部署で受け持ち患者に行った看護実践をもとに、自己の看護を振り返り看護観を深める *キャリア開発ラダーレベル1申請時のナラティブ記載に活かす</p>	<p>各部署教育担当者 教育責任者 各部署師長・教育担当者 教育責任者</p>	<p>10月8日（木） 8：30～17：00のうち 10分間程度/人実践 10月9日（金） 8：30～12：00 12月中に自部署で実施 （日時は部署の都合による）</p>

	*すぐに実践できる看護を学ぼう！ 地域における病院と当院看護師の役割 NEW	*がん対策基本法とがん診療連携拠点病院の役割を理解する *がん相談支援センター利用者の相談内容とその看護の実際を学び、今後の自己の看護実践に活かす NEW	がん相談支援センターがん看護専門看護師：川原看護師	11月19日（木） 9：00～10：00
		*地域における当院の役割を学び、自部署での看護実践に活かす *患者支援センターの役割を知る *退院調整における看護師の役割を学び、自部署での看護に活かす *チーム医療における看護師の役割を学び、今後の自己の看護実践に活かす	患者支援センター退院調整専従看護師：佐藤係長	11月19日（木） 10：15～11：15
	*キャリア開発ラダー説明会 既卒新採用者（赤十字系医療施設出身者以外は必須）	*キャリア開発ラダーの目的を理解し、必要な準備を行なうことができる	キャリア開発ラダー副委員長	11月19日（木） 11：30～12：30
	*「静脈注射 レベル3」 既卒新採用者も必須	*化学療法（抗がん剤）、循環動態への影響が大きい薬物、麻薬の静脈内投与、輸血を安全に実施するための知識・技術を習得する *静脈内留置針挿入の技術を認定看護師に確認してもらい、自己の課題を明らかにする ★本研修前に以下の学研の研修を受講し、テストで満点を取得しておく。 「与薬の技術『麻薬の管理と理解』（新人看護技術チェックコース）」 ★以下は研修前1か月以内に再視聴し、復習しておく。 「『輸血の準備・輸血の実施・輸血中と輸血後の観察/特別な注意を要する薬剤の管理』（新人看護技術チェックコース）」	学研講義活用 教育担当者 教育責任者	令和3年 3月 未定
	*まとめ研修 「ナラティブ発表会」	*この1年で自分の心に残っている看護の体験を語る ★本事例をキャリア開発ラダー1取得の申請に活かす	新人看護職員研修 運営委員師長 教育責任者	令和3年 3月 未定
	*包帯法	*包帯法について学ぶ ★実践については各部署部署別学習会で教育担当者が実施	学研講義活用	① 各自視聴 ② 学研のオンデマンドのテストで100点を取得する
	*止血法	*止血法について学ぶ ★実践については各部署部署別学習会で教育担当者が実施	学研講義活用	
	*重症度、医療、看護必要度研修 NEW 既卒新採用者も必須	*重症度、医療、看護必要度について理解する *正しい看護記録のあり方・書き方について理解する *重症度、医療、看護必要度の評価ができる	基準委員長	基準委員会より別途案内あり
対象	研修名	研修目標	講師	日時
レベル2	*社会の変化と保健医療福祉・看護界の動向 看護助手の参加可 (注) ラダー申請予定者は必須 事前学習：看護協会HPや協会ニュースから社会の変化や看護界の動向について情報を得ること	*国内外の保健・医療・看護・福祉の動向がわかる *国内における最新の健康問題に関心を持つことができる *地域の特性や社会資源、ニーズを把握し、看護の対象を個人から集団に広げ考えることができる	山岡看護部長	6月23日（火）
	*チーム医療 対象者：各部署1～2名 レベル1 「すぐに実践できる看護を学ぼう！ 地域における病院と当院看護師の役割 NEW 」 の研修に参加	*がん対策基本法とがん診療連携拠点病院の役割を理解する *がん相談支援センター利用者の相談内容を今後の看護に活かす *地域における当院の役割を学び、自部署での看護実践に活かす *患者支援センターの役割を知る *退院調整における看護師の役割を学び、自部署での看護に活かす *チーム医療における看護師の役割を学ぶ	がん相談支援センターがん看護専門看護師：川原看護師 患者支援センター退院調整専従看護師：佐藤係長	11月19日（木） 9：00～10：00 11月19日（木） 10：15～11：15
	*診療情報管理Ⅱ「看護記録」	*診療情報管理について理解する *看護記録の目的を理解し、効率的に、客観的な記録を書くための自己の課題を明らかにする。	教育委員師長	5月28日（木）
	*看護倫理Ⅱ	*看護倫理の概要を学び、倫理的問題を客観的な視点で理解できる *部署での倫理的問題に関心を持つことができる *昨年度の部署の倫理的問題について看護師の倫理綱領や赤十字の原則に照らし合わせて考えることができる	各部署の倫理委員 倫理委員長 (別途案内あり)	4月1日～9月30日 (各部署で実施) 10月倫理委員会で提出
	*看護とコミュニケーションⅡ 事前課題： 学研「看護職としての社会人基礎力とは」(基礎習得コース)	*社会人としての仕事の土台をつくる行動習慣について自身を振り返り、自己の課題を見出す *報告・連絡・相談やコミュニケーションを適切に行うための知識を習得し後輩の役割モデルとしての行動に役立てる *看護の対象と向き合うためのコミュニケーションスキルを学ぶ	教育委員師長	8月24日（月）
	対象	研修名	研修目標	講師
レベル3 対象限定：レベルⅢ以上をめざす人 レベルⅢ以上を申請する者は受講が望ましい	*看護倫理Ⅲ「倫理的意思決定」 対象者：「看護倫理Ⅱ」受講済みの者 レベル3を目指す人 各回とも、各部署1～2名程度	*看護倫理の概念、考え方を理解し、今までの疑問や倫理的問題に気づき客観的に分析できる *分析モデルを用いて臨床の倫理問題を明確化し解決方法を見出すことができる	新野看護副部長 (別途案内あり)	9月29日（火） 2月 日（ ） 未定 17：15～18：45 どちらか1回に参加
	*看護とコミュニケーションⅢ 「傾聴と質問」	*コーチングの概念を理解する *同僚の能力を引き出すための手法を知る *グループワークを通してリーダー的役割としての関わり方を振り返ることができる。 *アサーティブコミュニケーションを理解する	教育委員師長	11月26日（木）

	*国内外の保健・医療・看護・福祉の動向 (注) ラダー申請予定者は必須	*世界の国々それぞれには、歴史、宗教、政治、社会、言語、慣習、ジェンダーなどがあることを理解する *グローバル化に伴い、看護の対象も多種多様であることを理解し、地域の健康問題について考えることができる *自部署の看護の対象にグローバルな視点で必要な配慮は何かを考えることができる。	講師未定	7月21日(火)
	*リーダーシップとメンバーシップ 事前課題： 学研「いまだき世代の力を引き出す」(リーダー育成コース)	*自己のリーダーシップの取り方について考える *事前学習から、部署の後輩への適切な関わり方や指導方法を理解する。 *所属する職場の状況を分析し、課題を見出すことができる *部署のスタッフらと課題解決の過程を共有しながら、部署のチーム活動(業務改善)に取り組む	業務委員会 2回目業務委員会 *別途案内あり	チャレンジシートは 6月業務委員会に提出 12月17日(木) 14:30~15:30 (実践報告)
レベル4	*冬季感染症流行期の感染管理 対象者：看護管理者、レベル3取得済みの人	*看護の対象や職員へ働きかける上での正しい知識を習得する *有症状発生時の対応と病床管理の考え方について学ぶ	感染管理認定看護師 福田師長	10月22日(木)
対象	研修名	研修目標	講師	日時
全看護師	*「静脈注射」レベル1～レベル2 *「静脈注射」レベル3(点滴静脈留置針挿入まで)	*日本看護協会の「静脈注射の実施に関する指針」に沿って、レベル1～3の知識・技術を習得する (注) 過去にこの研修を受けていない者を対象に研修を実施する	学研講義活用 各部署教育担当者	新入職員研修に参加
	*「静脈注射」レベル3 麻薬・抗がん剤・循環動態に影響する薬剤 対象：「静脈注射」レベル1～2の研修修了者	*化学療法(抗がん剤)、循環動態への影響が大きい薬物、麻薬の静脈内投与を安全に実施するための知識・技術を習得する (注) 過去にこの研修を受けていない者を対象に研修を実施する	各部署教育担当者 学研講義活用	新入職員研修に参加
	*IV ナース養成コース① NEW CVポート管理と穿刺(静脈注射レベルⅢb) 参加希望者後日周知	*CVポートの特徴と合併症について理解できる。 *安全なCVポート管理と穿刺ができる。	がん化学療法看護認定看護師：藤原係長・高橋看護師 退院調整専従看護師 佐藤係長	8月20日(木) 16:00~17:30
	*IV ナース養成コース② NEW 抗がん剤の末梢穿刺・ポート穿刺(レベルⅢc) 参加希望者後日周知	*抗がん剤投与を目的とした末梢静脈留置針、CVポートの穿刺ができる。 *静脈確保に関する知識と技術を習得する。	がん化学療法看護認定看護師：藤原係長・高橋看護師	9月18日(金) 13:00~17:00
	*新採用・全職員対象「BLS」	*BLS=Basic Life Supportの知識と技術を身につけることができる	BLSインストラクター	各自で申込み受講する
	*新採用・全職員対象「RRS」	*RRS=Rapid Response Systemの知識と技術を身につけることができる		各部署で申込み
	*標準予防策と感染経路別予防策の基本 NEW	*標準予防策における手指衛生・个人防护具と感染経路別予防策について正しい知識を習得する	感染管理認定看護師 井上師長	10月5日(月)
	*「手指衛生5つの瞬間」に基づく実践 NEW 対象者：レベル2取得済で、全看護師対象「標準予防策と感染経路別予防策の基本」の受講者	*「手指衛生5つの瞬間」に基づく実践ができるように習得する *看護実践のリーダーとして、看護職員に手指衛生を指導するための知識とスキルを学ぶ	4B 嵯峨係長 5B 鈴木係長	10月19日(月)
	*排泄ケアにおける感染予防 NEW 学研「排泄ケアにおける感染予防」(基礎習得コース)	*膀胱留置カテーテルと間欠的導尿(自己導尿含む)について学ぶ	学研 各自で視聴	2020年4月1日~12月25日の期間に視聴、12月委員会で提出。
	*看護技術を学び直そう 「安全安楽な体位変換」 NEW ※研修受講者は部署で伝達しOJTを行うこと	*自分がこれまで実施してきた看護技術を見直し、確かなエビデンスを持ち、安全・安楽に実施できる *安全安楽な体位変換と体位保持の方法を学び、部署で実践することができる	基準委員会 加賀谷係長	7月15日(水) 13:30~15:00
	「浣腸」 「膀胱留置カテーテル」 対象者：全員 ※事前学習として、学研視聴を活用すること~「排泄援助技術各種」や上記「排泄ケアにおける感染予防」	【浣腸】 ・解剖生理を踏まえて禁忌事項を復習し、安全に実践できる。 ・手技を他者に評価してもらい、正しい方法を学び直す ・実践前後の観察ができる。 【膀胱留置カテーテル挿入と管理】 ・解剖生理を踏まえて禁忌事項を復習し、安全に実践できる。 ・手技を他者に評価してもらい、正しい方法を学び直す ・実践前後の観察ができる。	各部署教育担当者・教育委員 各部署教育担当者・医療安全委員	2021年1月~3月 受講者名簿は全員受講後に教育委員会へ提出する。(最終3/26教育委員会)
	*関連部署での見学実習 対象者：経験年数10年目程度 ・1部署へは2~3人程度とする ・手術室・カテ室へは新人ローテーションと重ならない時期に行くこと	*自部署の看護に関連する部署での見学実習を行い、学びを実践に活かすことができる (OP・救急外来・ICU・7HCU・3HCUは新人ローテーション研修の時期を避ける)	当該部署の看護師長・係長・教育委員ほかレベル3を取得しているスタッフ	実習先の部署と日時を相談し実施 アクションシートは部署師長の確認印をもらい前期分9月、後期分2月に、委員会で提出
	*がん薬物療法の実践における患者・医療者の安全 NEW	*抗がん剤暴露に関する知識・アセスメントやケアの視点を学ぶ	がん化学療法看護認定看護師：藤原係長・高橋看護師	9月10日(木)
	*看護研究：初めての院内発表 院内発表につなげる気づき(看護研究コース)	*気づきから臨床研究につなげる。	学研 各自で視聴	2020年4月1日~ 2021年3月31日の期間に視聴

	*看護研究：初めての学会発表 全16シリーズ（看護研究コース）	*看護研究とは？なぜ研究するのか？ *研究デザイン・文献の読み方・研究テーマの絞り込み 倫理的配慮・研究計画書の作成等	学研 各自で視聴	2020年4月1日～ 2021年3月31日 の期間に視聴
	*学会報告会・看護研究発表会	*看護学会・看護研究で得た知見を看護職員間で共有し、各部署で活かす	教育委員会	① 11月16日(月) ② 11月17日(火) ③ 12月7日(月) ④ 12月8日(火) 17:10～18:30
対象	研修名	研修目標	講師	日時
対象別 卒後2年目対象	*フォローアップ研修	*2年目の看護部教育計画を理解する *2年目の課題達成に向けて行動計画を立案する *「事例検討の進め方」について提示する	教育委員師長	4月21日(火)
	*リーダー研修 Part.1 「できる！明日からの日勤リーダー」 (リーダー育成コース)	*リーダーとリーダーシップの違いがわかる *日勤リーダーのイメージができる *憧れのリーダーを見つけることができる *当院や部署における各リーダーの役割を理解する	学研 各自で視聴	10～12月25日の間に視聴・テストを受ける。 12月の教育委員会に提出
	*リーダー研修 Part.2 「強くなる！明日からの夜勤リーダー」 (リーダー育成コース)	*夜勤リーダーのイメージができる *SBARがわかる *一人で抱え込まず周囲に相談する方法がわかる	学研 各自で視聴	10～12月25日の間に視聴・テストを受ける。 12月の教育委員会に提出
	*「事例検討」	*看護理論をもとに受け持ち患者の看護過程を展開する *フィジカルアセスメントを適切に行う *事例を通して自己の看護を振り返り、看護観を深める <u>注) 事例検討したものをキャリア開発リーダーレベル2申請時のナラティブの記載に活かす NEW</u>	部署看護師長・係長・教育委員	最終提出 2021年2月28日(金) 教育委員会で提出 3月中に部署発表
	*「到達目標」の最終評価	*2年目の課題達成のための行動計画を自己評価し、次年度への自己の課題を明らかにする *2年目の面接までに実施する	提出先：各部署師長（最終とりまとめは教育委員長）	部署内提出締切 令和3年 3月22日(月)
	*看護技術チェック	*1年目以降も未到達の看護技術は、全項目到達するまで研修する	全項目到達したら教育責任者へ提出	
	*令和2年度実地指導者フォローアップ研修 対象：令和2年度に新人看護師のプリセプターの役割を担った方対象	*実地指導者として新人看護職員に行った支援を評価し、自己の課題を明らかにする *7月以降の部署の新人看護職員の支援体制を見出すことができる <u>★必要時、教育委員長か教育委員師長、教育責任者や新人看護職員研修運営委員長が同席する NEW</u>	部署看護師長・係長・教育委員・プリセプター・教育責任者	6月末～7月上旬 部署の都合による
	*令和3年度実地指導者研修 対象：令和3年度に新人看護師のプリセプターの役割を担う方対象	*来年度の新人看護職員研修の内容と自分の役割を理解する *「共に育ち合う」ことを念頭に、謙虚さを持って新人看護職員の支援ができる	教育責任者 新人看護職員研修運営委員師長 教育委員師長	令和3年 2月日() *来年度別途案内
	*教育担当者研修 対象：令和3年度に部署の教育担当者の役割を担う方(係長のみ)	*部署の看護職員に必要な能力を明確にする *部署の教育計画・OJTを評価し、次年度に向けて見直しをする *今年度の自己の課題と次年度の新人看護職員研修における自己の役割を明確にする	教育責任者 新人看護職員研修運営委員師長 教育委員師長	令和3年 3月日() *来年度別途案内
対象	研修名	研修目標	講師	日時
*看護管理者	*昇任看護係長研修(名) (注)今年度昇任係長出席	*看護係長の職務について理解する *1年間のマネジメントの経験から、次年度に向けて看護係長としての自己の課題を明らかにする	看護管理者	研修計画書は別途作成・配付
	*昇任看護師長研修(名) (注)今年度昇任師長出席	*看護師長の職務について理解する *1年間のマネジメントの経験から、次年度に向けて看護師長としての自己の課題を明らかにする	看護管理者	研修計画書は別途作成・配付
	*「 どう対応すればよい？看護職における働き方改革 」(看護管理コース) NEW	*働き方改革のポイントや労務管理について理解する *自部署の勤務環境の課題を見出し、職員が働き続けられる仕組みを考える。	学研 各自で視聴	6月1日～8月28日までに視聴
	*「看護実践能力を育成するためのリフレクション」(看護管理コース)	*看護の質を維持・向上するための、スタッフ育成のための方略としてのリフレクションを理解する *リフレクションを活用できる	学研 各自で視聴	6月1日～8月28日までに視聴
	*冬季感染症流行期の感染管理 対象者： 看護管理者、レベル3取得済みの人	*看護の対象や職員へ働きかける上での正しい知識を習得する *有症状者発生時の対応と病床管理の考え方について学ぶ	感染管理認定看護師 福田師長	10月22日(木)
	* 看護研究計画書の作成 NEW 対象者：看護研究計画書作成の指導にあたる師長・係長・教育委員・倫理委員	*研究班が意欲を維持し計画的に活動できるように必要な支援方法を学び、部署の師長・係長・倫理委員・教育委員が共同して関わることができる *研究計画書の倫理的配慮について職員に指導できる感性を養う *看護大学教員からの助言を活用する	倫理委員長 教育委員長	毎年10～3月の教育委員会に提出。 適宜、倫理委員長にも提出(倫理委員長最終提出6/28)
* 関連部署での見学実習 NEW	*他部署の見学実習を行うことで、自部署での看護管理に活かすことができる	部署の看護師長・係長	実習先の部署と日時を相談し実施	

	*看護管理者 研修報告会	赤十字看護管理者研修Ⅰ～Ⅱ 管理者研修課題発表 (秋田県看護協会/赤十字看護管理者研修Ⅰ～Ⅱ/東北ブロック赤十字医療施設師長・係長交流研修)	*看護実践や看護管理に活用するため、研修参加者が学んだ知識・技術を共有する *前年度の看護管理者研修(赤十字(Ⅰ～Ⅲ)、秋田県看護協会(Ⅰ～Ⅲ)、東北B交流研修)参加者の管理課題の取り組みと成果を共有する。 注)今年度キャリア開発ラダー取得予定者は、いずれかに参加すること。	担当:看護部 別途案内あり	月 日()未定 月 日()未定
	*救護員としての赤十字看護師長研修 「災害と看護管理」(PTTあり) (注)看護師長・係長は「救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修2」の受講希望者に、各部署で以下について講義する。 1 災害発生状況と看護ニーズを理解する 2 災害サイクル別の災害看護活動を理解する 3 被災者特性に応じた災害看護活動を理解する		*災害各期における様々な状況下での看護管理者の役割を理解する *看護管理者として災害看護に関する実践的課題と今後の展望について考察する ・部署の災害・テロ・感染等の対策の仕組みを作る ・定期的な災害・テロ・感染防止の訓練を行い、スタッフの災害看護教育を行う。	部署の看護師長・係長	「救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修」の計画に合わせて、部署での教育計画を立案・実践する (複数回に分けて開催するなどの工夫可)
	*看護管理者研修 看護管理過程におけるPDPの活用 対象:看護師長 (注)講義はありません		*自部署の管理課題を明らかにし、PDCAサイクルを回すことを意識し目標達成を目指す(ラダーの指標「管理過程」も参照すること、看護部で配布した書籍も活用すること) *管理課題に取り組むうえでの困りごとから真の問題を探り、解決のためにすぐ実行できる効果的な取り組みを見出すことができる *全看護管理者が管理者ラダーのレベルを取得することで、スタッフのラダー申請の動機付けとなることをめざす	担当:看護部 新野副看護部長 別途案内あり	9月1日(火) 13:30~16:30
看護助手	*看護補助者対象研修 ・2回の研修のうち1回参加のこと 参加必須	*医療制度の概要と当院の組織体制と機能 *医療チームにおける看護補助者の役割と業務、業務上の責任 *患者への対応と接遇 *医療における倫理と個人情報保護法遵守 *医療安全 *感染予防管理	学研講義活用 看護部 医療安全 感染管理認定看護師	集合研修 6月11日(木) 13:30~15:30 6月25日(木) 13:30~15:30	
	*認知症を学び支えよう NEW ・2回の研修のうち1回参加のこと 対象者: 希望者	*認知症のある対象を理解し、コミュニケーションに役立てる	認知症看護認定看護師:出雲看護師	集合研修 5月21日(木) 5月28日(木) 13:30~15:00	
	*看護援助技術「食事介助」 ・オンデマンド視聴後に実技 ・2回の研修のうち1回参加のこと 参加必須	*看護助手として、対象に安全に援助するための技術を修得する	基準委員	集合研修 10月7日(水) 10月22日(木) 13:30~15:00	

教育専門コース

分野	研修名	研修目標	講師	日時
救急看護	*RRSに役立つ臨床推論 NEW 対象:全看護師	*臨床推論をRRSコールに関連づけて学ぶ *急性期疾患患者に対し予測した対応や観察が出来る知識を習得する	救急看護認定看護師 急性重症患者看護専門看護師:小笠原看護師	5月8日(金)
感染管理	*冬季感染症流行期の感染管理 対象者: 看護管理者およびレベル3取得済の人	*看護の対象や職員へ働きかける上での正しい知識を習得する *有症状者発生時の対応と病床管理の考え方について学ぶ	感染管理認定看護師 福田師長	10月22日(木)
新生児看護	*超早産児の蘇生について(応用編) 対象: レベル2を取得済で、超早産児の蘇生介助に携わった経験がある人	*超早産児の特徴を理解し、蘇生について看護の役割と実践のポイントを理解できる *部署間連携に役立てるための実践能力を習得する	新生児集中ケア認定看護師:岡田看護師・小林看護師	6月15日(月)
認知症看護	*認知症高齢者への看護 NEW 対象:全看護師	*高齢者、認知症のある患者の特徴を理解し、高齢者体験を通して関わり方を学ぶ	認知症看護認定看護師:出雲看護師・木村看護師	8月18日(火)
皮膚排泄ケア	*ストーマケア(基礎編) NEW 対象:全看護師	*予防的・治療的スキンケアを理解し、実践に活かすことができる	皮膚排泄ケア認定看護師:小松係長/加賀谷係長	9月17日(木)
	*ストーマケア(応用編) NEW 対象者: ストーマケア(基礎編)受講者・ストーマケアに従事する者	*ストーマケアに難渋する患者に対し、根拠を持って対応ができる		10月12日(月)
	*スキンテアの発生機序とケア NEW 対象者:全看護師	*スキンテアについて理解を深める		11月10日(火)

教育研修専門コース

がん看護実践コース NEW					
	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時	
がん看護総論	がんの基礎知識	* がん医療と薬理	* 薬物動態の基礎について理解できる	薬剤師	がん看護委員会主催 次年度以降開催予定
		* がん患者と社会	* がん医療に伴う社会的影響と経済的問題について理解できる	医療社会事業司	
		* がん患者と栄養	* がん患者の栄養障害の病態と治療や病状の変化に伴う栄養管理の方法が理解できる	管理栄養士	
	がん看護の基礎となる考え方	がん医療と看護倫理 * その人の“よく生きる力”を支えるために 知っておきたいがん看護倫理	1. がん看護実践における倫理の基本的な知識（がんサバイバーシップ、セルフアドボカシー、自由と自律、well-being、ケアリング）と考え方を理解する 2. 多様な価値について知り、その背景や事情を考える態度（尊厳）について学ぶ 3. がん治療・療養過程における倫理的な意思決定について理解する 4. 自身の倫理的実践を言語化することの重要性を理解する	がん看護専門看護師 師：高橋看護師	9月15日（火）
		がん医療と看護倫理 * 高齢がん患者の意思決定支援	1. 高齢者のがん看護に求められる視点が理解できる 2. 高齢がん患者の意思決定を支えるケアができる	がん看護専門看護師 ：川原看護師	5月19日（火）
		* がん患者とコミュニケーション	1. がん患者のコミュニケーションの基本プロセスを学ぶ 2. 実践に活用できる基本的なコミュニケーション技術を理解できる	DVD	がん看護委員会主催 後日視聴会実施
	がん看護実践の基本	がん患者と家族の理解 * がんサバイバー	* がんサバイバーシップの考え方について理解し支援できる。	DVD	がん看護委員会主催 後日視聴会実施
		がん患者と家族の理解 * がん患者の家族の体験と援助	1. 家族の一員ががんサバイバーであることが家族に及ぼす影響について理解できる 2. 家族のアセスメントを行い、アセスメントに基づいて援助できる	がん看護専門看護師 師：川原看護師	8月4日（火）
		がん看護実践の基本概念と方法 * がん患者の“よく生きる力”を支えるために 知っておきたいセルフケア	1. がんサバイバーシップとセルフアドボカシーを理解する 2. がん患者にとってのセルフケアの重要性を理解する 3. がん患者のセルフケアをアセスメントし、理論に基づいた支援を考える 4. 家族、多職種との連携・協働で実現するセルフケア支援を考えることができる（事例紹介）	がん看護専門看護師 師：高橋看護師	7月9日（木）
		がん看護実践の基本概念と方法 * がん患者とリハビリテーション	* がん患者の生活機能と生活の質の改善を目的とする医療ケアについて理解できる	リハビリテーション科	がん看護委員会主催 次年度以降開催予定
		* がん患者の症状を知って アセスメント力を高めよう	1. 患者主体の症状マネジメントの考え方について理解できる 2. がんの病状の変化に伴う代表的な身体症状（痛み、呼吸困難、悪心、嘔吐）の病態に基づきアセスメントできる 3. 代表的な症状に対する薬物療法・非薬物療法（薬物療法以外の緩和方法和生活の工夫）について説明できる	緩和ケア内科部長 小松田先生	がん看護委員会主催
		* オンコロジーエマージェンシー ～がん患者の急変をとらえる～	1. オンコロジーエマージェンシーの主な病態と発生メカニズム 2. 具体的症状・兆候、支持療法について理解できる (DIC・腫瘍崩壊症候群・高カルシウム血症・低ナトリウム血症・敗血症・上大静脈症候群・脊髄圧迫・心タンポナーデ・頭蓋内圧亢進症など)	緩和ケア内科部長 小松田先生	がん看護委員会主催
		* がん患者のエンドオブライフケア	* ELNEC-J 要項参照	ELNEC-J 受講	後日要綱案内
		* がん患者の在宅療養支援	* レベル1「地域における病院と当院看護師の役割」参照	レベル1研修へ参加	
	がん薬物療法看護	* がん薬物療法と使用される抗がん剤の特性	1. がん薬物療法と使用される薬剤の特性と副作用を理解できる 2. がん薬物療法の副作用の発生機序と支持療法を理解できる	薬剤師	がん看護委員会主催 後日日程調整
* がん薬物療法に伴う代表的な副作用とケア		* がん薬物療法の副作用出現時のセルフケア支援ができる	がん化学療法看護 認定看護師：藤原係 長・高橋看護師	10月27日（火）	
放射線療法	* がん放射線治療の特性と看護	* がん放射線療法と使用される放射線の特性について理解できる	放射線治療技師	がん看護委員会主催 後日日程調整	
		* 放射線治療に伴う有害事象時の援助と生活支援を理解できる	調整中		
	* 放射線の実践における患者・医療者の安全	* 放射線療法の実践で患者・医療者の安全を守ることが出来る	医療安全委員会主催	放射線安全講習会へ参加	
緩和ケア	* 体とこころの痛みをアセスメントし、 ケアに活かそう	1. トータルペインを知り、身体的・精神的症状の看護を理解できる 2. 疼痛アセスメント、がんに対する通常の心理反応（初期悲嘆・不眠・不安・希死念慮）を理解し、援助が出来る	緩和ケア認定看護師 ：清水師長/高橋看護 師	7月6日（月）	
	* スピリチュアルペインのアセスメント ～「わたし」が失われるつらさって何？～	1. トータルペインを知りスピリチュアルペインについて理解できる 2. 村田理論を用いてスピリチュアルペインのアセスメントができる <がん患者で事例検討を考えている方おすすめ>		6月30日（火）	
	* 緩和ケアにおける鎮静について	1. 看取り期の苦痛緩和としての鎮静を考えることが出来る 2. 鎮静ガイドラインについて学ぶことが出来る	緩和ケア認定看護 師：清水師長/高橋看 護師	11月2日（月）	

救護員としての赤十字看護師等研修コース

分野	研修名	研修目標	講師	日時
救護員としての赤十字看護師研修	* 救護員としての赤十字看護師研修	* 「救護員としての赤十字看護師」としての登録・任命に必要な知識・技術・態度を習得する	担当：看護部	6月予定 研修計画書は別途作成・配布
	* 救急法 (注) 救護員としての赤十字看護師研修受講者は必須	* 「救護員としての赤十字看護師」としての登録・任命に必要な知識・技術・態度を習得する	担当：看護部 日赤秋田県支部	別途案内
救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修	1. 日本赤十字社看護部の救護員としての赤十字看護師の育成に関する取り組み (20分) 対象：レベル2を目指す方	* 赤十字の看護師養成の歴史について理解する * 救護員養成の法的根拠について理解する * 研修体系を理解する * 赤十字施設のキャリア開発ラダーとの関連を確認する	佐藤師長	項目3と一緒に行う 6月30日(火) 13:00～15:20
	2. 日本における災害対策および日本赤十字社の災害救護活動～協働の時代に向けて～ (90分) 対象：レベル2を目指す方 注) 救護員としての赤十字看護師等フォローアップ研修の集合研修を受ける前に各部署で受講する	* 災害の定義、分類、近年の発生傾向等について理解する * 日本赤十字社が行う災害救護活動の法的根拠、国の防災対策との関連について理解する * 日本赤十字社の災害救護体制とリソースについて理解する * 日本赤十字社取り巻く災害救護活動の現状、今後の取り組みについて理解する	部署師長・係長	部署の都合による (数回に分けて開催するなど工夫可)
	3. 災害サイクルに応じた看護活動 (講義60分+ディスカッション60分程度) 対象：レベル2を目指す方	* 災害サイクルに応じた災害救護活動を理解する ①超急性期活動でのそれぞれの場所での活動の目的・目標を理解する ②災害サイクル各期における避難所や仮設住宅での生活支援について理解する ③静穏期の減災対策(国の減災対策・病院等施設の減災対策・個人の減災対策)を理解する	齋藤師長 五十嵐係長 小山内看護師 佐藤師長	項目1と一緒に行う 6月30日(火) 13:00～15:20
	4. 災害時における感染制御について (講義70分+GW20分) 対象：レベル2を目指す方	* 災害時における感染制御について理解する	感染管理認定看護師：井上師長	7月30日(木) 14:00～15:30
	5. 災害の特性に応じた救護活動 (90分) 対象：レベル3を目指す方	* 災害の特性による救護活動を理解する	岩下師長 今野係長 白鳥係長 佐藤師長	8月27日(木) 14:00～15:30
	6. 被災者特性に応じた看護活動 (講義30分+GW90分程度) 対象：レベル3を目指す方	* 下記の対象者に対する災害看護を理解する 「高齢者・母性・小児・障がい者・精神障がい者・慢性期疾患患者など」	大原師長 菅原師長 中川師長	項目7と一緒に行う 11月9日(月) 13:00～17:00
	7. 災害時の遺体の対応について (講義60分GW60分程度) 対象：レベル3を目指す方	* 災害時のご遺体の対応について理解する	菅原師長 大原師長 中川師長	項目6と一緒に行う 11月9日(月) 13:00～17:00
災害看護実践コース NEW	すぐに実践に活かせる災害看護～PART. 1	* 災害のフェーズや特性に応じた救護活動に必要な物品や装備を理解する * 救護班の装備の使い方を理解する * トリアージについて理解する ★ 演習あり。活動しやすい服装で参加してください。	社会課 DMAT 隊員の看護師	別途社会課より案内あり
	すぐに実践に活かせる災害看護～PART. 2	* 救護所運営の際の看護師の役割と活動内容を理解する * 巡回診療の際の看護師の役割と活動内容を理解する * 避難所アセスメントについて学ぶ ★ 演習あり。活動しやすい服装で参加してください。		

* 時間の記載のない研修の時間は、17:10～18:10